

令和6年度災害時の外国人市民支援 に係る研修 実績報告書

**市民局国際平和推進部国際化推進課多文化共生担当
(受託者:(公財)広島平和文化センター)**

令和6年度災害時の外国人市民支援に係る研修の実施業務

外国人市民の防災意識の向上を図るとともに、日本語で円滑にコミュニケーションできない外国人市民等に対する災害時の支援体制を整えるため、「令和6年度災害時の外国人支援に係る研修の実施業務」を（公財）広島平和文化センターが受託し実施した。

1 実施内容

（1）外国人市民のための防災研修

日本で発生する災害に関するストック情報（過去の教育や訓練などで蓄積された情報）が不足している外国人市民等は災害そのもののリスクが分からず、また、フロー情報（災害時に発出される危険情報や避難情報）が届かなかったり、理解できなかったり、受け取っても適切な避難行動が取れないおそれがある。このため、外国人市民等を対象に、本市において頻発している豪雨災害を中心にストック情報を身に付け、災害時に適切な避難行動につなげてもらうよう防災意識の向上を図るための研修を2回実施した。

＜1回目＞

実施日：令和6年9月29日（日）10：30～13：00

会場：広島市留学生会館2階

講師：広島市危機管理室災害予防課 職員

参加者：外国人市民21人（母語：中国語、インドネシア語、タガログ語、ベトナム語、ベンガル語、韓国語、英語）、日本人1人、災害通訳等ボランティア3人（対応言語：英語、中国語）

内容：

本研修では、災害の種類や特徴に関する講義、防災・災害にまつわる言葉や災害時にとるべき行動について考えるクイズゲームなどを行った。また、段ボールベッドの組立て体験や非常食の試食体験など、実践的な内容を盛り込むことにより、確実に知識を身に付けることを目的とした。

災害通訳等ボランティアに、通訳や作業の指示等のサポートを担ってもらった。

＜2回目＞

実施日：令和7年3月2日（日）10：30～12：30

会場：広島市可部公民館 研修室1A、研修室1B

講師：安佐北区役所市民部地域起こし推進課 職員

参加者：外国人市民8人（母語：タイ語、インドネシア語、ウクライナ語）、日本語教室ボランティアスタッフ2人、日本語教育地域コーディネーター1人

内容：

本研修では、安佐北区周辺の日本語教室参加者を対象とし、安佐北区で起こり得る災害についての講義や、避難場所の確認や広島市避難誘導アプリ「避難所へGO」の説明等を行うことで、参加者一人ひとりの居住地に合わせたアドバイス・指導を行った。また、災害時に取るべき行動について考えるクイズ、非常食の試食体験などを行った。

(2) 外国人市民のための防災研修

広島市災害通訳等ボランティアを対象に、災害時における対応を身に付け、通訳・翻訳のスキル向上を図るための研修を実施した。広島市災害通訳等ボランティアの更なる能力の向上のため、本委託業務とは別に当財団が実施する通訳ボランティア研修に、広島市災害通訳等ボランティアも参加できるようにした。また、広島市災害通訳等ボランティアへの登録を促すため、ボランティア未登録者であっても参加可能とした。

実施日：令和7年2月8日（日）10：00～15：50

会 場：広島国際会議場3階 研修室2・3

講 師：語学研修 株式会社インターングループ 田中 妙子氏

座学研修 公益財団法人箕面市国際交流協会事務局次長 岩城 あすか氏

参加者：16人（広島市災害通訳等ボランティア・通訳ボランティア登録者5人、広島市災害通訳等ボランティアの登録のみ1人、通訳ボランティアの登録者ののみ6人、ボランティア未登録者4人）

内 容：

語学研修では、主に英語の登録者を対象とし、通訳訓練法を使った口頭練習を行うとともに、外国人市民への災害対策の説明場面を想定したロールプレイを実施した。座学研修では、大阪北部地震の事例をもとに災害時の外国人への支援のあり方について講義を行ったほか、実際の災害時を想定した情報選別を目的としたグループワーク及び翻訳体験を行った。